

### 第3次行財政対策の効果額

(単位：百万円)

区 分	単 年 度 効 果 額										累積効果額
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
<b>職員数の見直し、経常経費の節減など (行政の内部努力) A</b>	<b>437</b>	<b>363</b>	<b>526</b>	<b>642</b>	<b>784</b>	<b>618</b>	<b>1,173</b>	<b>1,189</b>	<b>1,533</b>	<b>1,364</b>	<b>36,595</b>
1) 組織機構・職員数の見直し	237	263	270	403	456	368	513	904	852	912	21,674
① 職員数の見直し	(△20人) 198	(△28人) 262	(△31人) 281	(△50人) 418	(△73人) 598	(△79人) 653	(△94人) 760	(△157人) 1,254	(△133人) 1,061	(△150人) 1,197	(△815人) 26,486
② 委託化・囑託化等	39	1	△ 11	△ 15	△ 142	△ 285	△ 247	△ 350	△ 209	△ 285	△ 4,812
2) 収入役の廃止							16				64
3) 給与制度の見直し	0	0	56	139	228	150	312	84	52	73	4,989
特殊勤務手当の見直し			56								448
特殊勤務手当の廃止							90				360
給与制度の見直し							170				680
6か月昇給延伸				125							875
特別職報酬・管理職手当5%カット				13	13	19	23	15	18	21	265
教員給与見直し									34	41	75
時間外勤務の抑制							36	69		11	362
55歳昇給停止				1							7
寒冷地手当引き下げ					82	114					1,062
退職手当支給率引き下げ					133						798
退職時特別昇給廃止						17					85
退職手当制度改正							△ 7				△ 28
4) 経常経費の節減	200	100	200	100	100	100	332	201	629	379	9,868
<b>使用料・手数料の見直しなど (市民の協力) B</b>	<b>340</b>	<b>14</b>	<b>345</b>	<b>10</b>	<b>88</b>	<b>334</b>	<b>177</b>	<b>97</b>	<b>117</b>	<b>115</b>	<b>9,902</b>
1) 受益者負担の適正化	317	3	358	0	0	0	36	49	55	31	6,493
① 一定サイクルの見直し	317	3	0				36	37	11	26	3,500
② 自主財源確保(家庭ゴミ有料化・広告収入等)			358					12	44	5	2,993
2) 施策の見直し	23	11	△ 13	10	88	334	141	48	62	84	3,409
① 補助金の見直し	21	8	10	7	1	1	23	31			607
② 負担金の見直し	2	3	1	3	7	1	3	3			144
③ 扶助費の見直し			△ 24			332	91				1,832
④ 単独助成費等その他の見直し					80		24	14	62	84	826
<b>実施年度効果額 A+B</b>	<b>777</b>	<b>377</b>	<b>871</b>	<b>652</b>	<b>872</b>	<b>952</b>	<b>1,350</b>	<b>1,286</b>	<b>1,650</b>	<b>1,479</b>	<b>46,497</b>
累積効果額	777	1,931	3,956	6,633	10,182	14,683	20,515	27,610	36,340	46,497	

※ 組織機構・職員数の見直しによる効果額は、企業会計、競輪事業、交通災害共済など一般会計による人件費負担のないものを除き、職員給与費のほか職員派遣に係る委託料等の増減などを含む。  
効果額は、実施年度の当初予算を前年度の当初予算と比較したものである。